



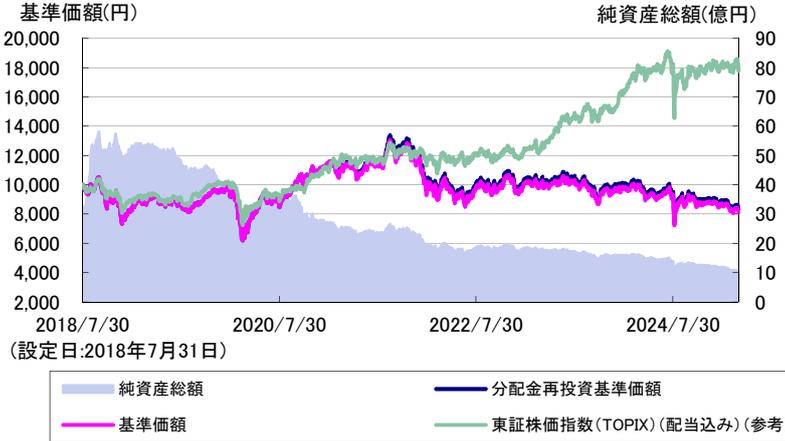
きらぼし・みらい応援株式ファンド

愛称：きらぼしみらい

追加型投信／国内／株式  
2025年3月31日基準

運用実績

運用実績の推移



基準価額は1万口当たり・信託報酬控除後の価額です。なお、信託報酬率は「ファンドの費用」をご覧ください。  
分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額とは異なります。  
分配金再投資基準価額＝前日分配金再投資基準価額×(当日基準価額÷前日基準価額)(※決算日の当日基準価額は税引前分配金込み)  
基準価額は設定日前日を10,000円として計算しています。  
東証株価指数(TOPIX)(配当込み)は設定日前日の値を10,000円として計算しています。  
\*参考指数の変更に伴い、2024年12月30日基準のレポートから「配当込み」の指数にしました(以下同じ)。  
上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。

騰落率(税引前分配金再投資)

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	5年	設定来
ファンド	-0.8%	-8.5%	-10.2%	-18.6%	-20.8%	14.4%	-16.6%
東証株価指数(TOPIX)(配当込み)(参考)	0.2%	-3.4%	1.8%	-1.5%	47.2%	113.4%	77.7%
差	-1.1%	-5.0%	-12.0%	-17.0%	-68.0%	-99.0%	-94.3%

※1 ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものととして算出していますので、実際の投資家利回りとは異なります。  
※2 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。  
※3 各期間は、基準日から過去に遡っています。また設定来の騰落率については、設定当初の投資元本を基に計算しています。

分配金実績(税引前) ※直近3年分

第8期(2022.09.05)	0 円	第11期(2024.03.04)	0 円
第9期(2023.03.03)	0 円	第12期(2024.09.03)	0 円
第10期(2023.09.04)	0 円	第13期(2025.03.03)	0 円
		設定来累計分配金	300 円

※1 分配金は1万口当たり。  
※2 上記の分配金は過去の実績であり、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。  
※3 分配金額は、分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

※当資料中の各数値については、表示桁未満の数値がある場合、四捨五入して表示しています。

※当資料は9枚ものです。

※P.7の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご覧ください。

基準価額・純資産総額

基準価額	8,128 円
純資産総額	1,029 百万円

※基準価額は1万口当たり。

ポートフォリオ構成

	組入比率(%)
株式現物	93.7
東証プライム	78.6
東証スタンダード	3.4
東証グロース	11.6
地方市場	0.0
その他新興市場	0.0
現金等	6.3
合計	100.0
株式先物	0.0
株式実質組入(株式現物+株式先物)	93.7

※ 組入比率は純資産総額に対する実質組入比率です。

組入上位10業種

No.	業種	組入比率(%)
1	情報・通信業	26.6
2	サービス業	14.5
3	電気機器	10.8
4	化学	7.3
5	小売業	4.6
6	機械	4.4
7	食料品	4.1
8	不動産業	3.9
9	精密機器	2.7
10	証券、商品先物取引業	2.3

※1 組入比率は純資産総額に対する実質組入比率です。  
※2 業種は東証33業種分類によるものです。



きらぼし・みらい応援株式ファンド

愛称：きらぼしみらい

2025年3月31日基準

組入上位10銘柄

組入銘柄数:92銘柄

No.	銘柄		組入比率 (%)	概要
	取引市場			
	業種			
1	SCSK		2.1	製造業向けに強みを持つシステムインテグレーターです。自動車のソフトウェア化に対する投資が拡大する中で車載システムの案件増加による成長が見込まれることに加え、基幹システム構築案件を起点としたデジタルサプライチェーン実現に向けた受注拡大による成長も期待されます。
	東証プライム			
	情報・通信業			
2	ワンキャリア		1.8	新卒採用メディア「ONE CAREER」を運営しています。各企業の選考情報が豊富に掲載されているメディアのため、就職活動をする学生にとって重要なツールとなっています。競合メディアに対して求人数の開拓余地が大きいことから、更なる成長が見込まれます。
	東証グロース			
	情報・通信業			
3	FOOD & LIFE COMPANIES		1.7	回転寿司の「スシロー」などを展開しています。国内スシローが堅調に推移していることに加えて、海外における収益拡大により中期的な成長が期待できます。
	東証プライム			
	小売業			
4	ダイセキ		1.7	廃油、廃水など液状産業廃棄物処理の大手企業です。付加価値の高いリサイクル材に注力していることに加えて、子会社では土壌浄化、鉛リサイクルなどを手掛けており、これら幅広いラインアップで顧客のサーキュラーエコノミーやカーボン・ニュートラルへの対応に貢献しています。
	東証プライム			
	サービス業			
5	FPG		1.6	オペレーティング・リースを活用して中小企業に課税の繰り延べ効果享受させる事業を中心とする企業であり、将来は不動産・証券など様々なサービスもワンストップで提供することを目指しています。企業利益回復に伴い課税繰り延べのニーズが高まっていること、当社は航空機をはじめとするリース資産の品ぞろえを拡充していること、などから中期的に収益性を維持しながら売上高の拡大が続く可能性が高いと見えています。
	東証プライム			
	証券、商品先物取引業			
6	EWELL		1.6	訪問看護専用電子カルテ「iBow」を提供しており、サービス利用件数の増加に加えて、追加機能によるアップセル/BPOサービスなどのクロスセルによる売上拡大が期待できます。
	東証グロース			
	情報・通信業			
7	富士通		1.5	ITサービス市場で国内シェア首位。金融、流通、官公庁など幅広い顧客基盤を有しており、AIやデータを活用した社会課題解決のソリューションであるFujitsu Uvanceによる成長などが期待されます。
	東証プライム			
	電気機器			
8	ソニーグループ		1.5	民生電機メーカー大手でゲーム、映画、音楽、金融などの事業に加え、半導体分野でもイメージセンサーに強みを有する。
	東証プライム			
	電気機器			
9	不二製油グループ本社		1.4	食品素材加工メーカーです。引き合いが強いチョコレート油脂(CBE)の収益力拡大や、米国事業の構造改革による損益改善が見込まれます。
	東証プライム			
	食料品			
10	日本ホスピスホールディングス		1.4	末期がん患者や難病患者を対象とする医療介護サービスを展開しています。緩和ケアの専門性と厳格な運用を強みとしていることに加えて、ユニット制・本部サポート体制の構築によって、成長の安定性が高まりつつあります。
	東証グロース			
	サービス業			

- ※1 複数の市場に上場している銘柄は、優先市場を記載しています。
- ※2 組入比率は純資産総額に対する実質組入比率です。
- ※3 業種は東証33業種分類によるものです。
- ※4 当該個別銘柄の揭示は、銘柄推奨を目的としたものではありません。

※当資料中の各数値については、表示桁未満の数値がある場合、四捨五入して表示しています。

※当資料は9枚ものです。

※P.7の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご覧ください。



アセットマネジメントOne株式会社



## きらぼし・みらい応援株式ファンド

愛称：きらぼしみらい

2025年3月31日基準

### マーケット動向

3月の東証株価指数(TOPIX)は月間で0.9%下落し、月末は2,658.73ポイントで終了しました。

月前半は、トランプ政権による関税政策の動向や景気の先行き見通しに振られて一進一退の展開となりました。月後半は、米小売売上高が消費の底堅さを示したことなどから上昇基調で推移しましたが、月末にはトランプ政権による追加関税を背景として物価上昇と景気後退が同時に進むスタグフレーションのリスクが意識されて下落し、月間でもマイナスに転じました。

東証33業種別指数の騰落率では、上位は「鉱業」、「保険業」、「不動産業」、下位は「海運業」、「その他製品」、「サービス業」などでした。

### 当ファンドの動き

パフォーマンスにつきましては、当ファンドの基準価額は前月末比0.8%下落しました。業種面では銀行業のアンダーウェイトがマイナスに影響しました。個別銘柄では、エムアップホールディングス、不二製油グループ本社、楽天銀行などがプラスに寄与した一方、トリケミカル研究所、ラクスル、ハーモニック・ドライブ・システムズなどがマイナスに影響しました。

3月は、ITサービス企業や空調設備工事企業などの株式を購入しました。

一方、株価上昇によってバリュエーションの魅力度が低下した船舶用機器メーカーや成長シナリオに不透明感の生じた電子部品メーカーなどの株式を売却しました。

### 今後のマーケットの見通しと運用方針

今後の国内株式市場は、金融政策の動きには留意が必要ですが、国内消費拡大を背景とした堅調な業績成長から緩やかな上昇基調に転じるものと予想します。

プラス材料としては、国内の賃金上昇などを背景とした消費拡大、先進国の底堅い景気動向、米国の利下げ継続などを想定しています。一方でマイナス材料として、米政権における貿易政策などの動向、日本の金融政策とそれともなう為替動向、地政学リスクの高まりなどを想定しており、これらについては留意が必要と考えます。

当ファンドでは、引き続き成長性が鈍化したと判断する銘柄の売却を実施し、成長性が高いと予想する銘柄へのシフトを進める方針です。中長期的に持続可能な競争優位性・利益成長性を重視する観点から徹底的なリサーチを実施し、組入銘柄の見直し、新規銘柄の発掘に努めてまいります。

※上記のマーケット動向と当ファンドの動きは、過去の実績であり将来の運用成果等をお約束するものではありません。また、見通しと運用方針は、作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等により当該運用方針が変更される場合があります。

※当資料は9枚ものです。

※P.7の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご覧ください。



アセットマネジメントOne 株式会社



## きらぼし・みらい応援株式ファンド

愛称：きらぼしみらい

ファンドの特色(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

### 1. 「競争力の優位性」と「利益の成長性」を重視した個別銘柄選定を通じて、超過収益の獲得を目指します。

※超過収益とは、市場全体の投資収益率を上回るファンドの投資収益の付加部分をいいます。

- ◆アナリストチームの綿密なボトムアップ・アプローチによる投資銘柄選定を基本としたアクティブ運用を行います。
  - ・ボトムアップ・アプローチとは、個別企業の定量・定性両面にわたる調査・分析に基づき、投資銘柄の選定を行う手法をいいます。
  - ・アクティブ運用とは、ファンドマネジャーの独自の判断および様々な投資技法を駆使して、市場全体の投資収益率を上回る超過収益の獲得を目指す運用方法をいいます。当ファンドでは、東証株価指数（TOPIX）（配当込み）をこの投資収益率の参考指標とします。

東証株価指数（TOPIX）の指数値および東証株価指数（TOPIX）にかかる標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など東証株価指数（TOPIX）に関するすべての権利・ノウハウおよび東証株価指数（TOPIX）にかかる標章または商標に関するすべての権利はJPXが有しています。JPXは、東証株価指数（TOPIX）の指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。本商品は、JPXにより提供、保証または販売されるものではなく、本商品の設定、販売および販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJPXは責任を負いません。

- ◆各業種毎に、アナリストが定量・定性両面にわたる綿密な調査・分析を行い、投資銘柄を厳選します。
  - ・調査・分析にあたっては、東京証券取引所による33業種分類を、さらに景気や業績のサイクルを考慮した当社独自の基準に基づく62業種に分類し直し、調査の実効性を高めます。
- ◆個別銘柄の選択効果を最大限にねらう見地から、銘柄の規模や業種別の投資比率には制限を設けないものとします。
- ◆原則として、株式への投資比率を高位に維持し、積極的な運用を行います。
  - ※株式市況やファンド資金動向によっては、株式投資比率を高位に維持できない場合があります。

### 2. 「MHAM日本成長株マザーファンド」をマザーファンドとするファミリーファンド方式で運用を行います。

資金動向、市況動向等によっては、上記の運用ができない場合があります。

※当資料は9枚ものです。

※P.7の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご覧ください。



アセットマネジメントOne 株式会社



## きらぼし・みらい応援株式ファンド

愛称：きらぼしみらい

主な投資リスクと費用（くわしくは投資信託説明書（交付目論見書）を必ずご覧ください）

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、ファンドの基準価額は変動します。これらの運用による損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金と異なります。

株価変動リスク	株式の価格は、国内外の政治・経済・社会情勢の変化、発行企業の業績・経営状況の変化、市場の需給関係等の影響を受け変動します。株式市場や当ファンドが実質的に投資する企業の株価が下落した場合には、その影響を受け、基準価額が下落する要因となります。 なお、当ファンドは、個別銘柄の選択による投資を行いますので、株式市場全体の動向から乖離することがあり、株式市場が上昇する場合でも基準価額は下落する場合があります。
流動性リスク	有価証券等を売却または取得する際に市場規模や取引量、取引規制等により、その取引価格が影響を受ける場合があります。一般に市場規模が小さい場合や取引量が少ない場合には、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないことや、値動きが大きくなる場合があります。基準価額に影響をおよぼす要因となります。
信用リスク	有価証券等の価格は、その発行体に債務不履行等が発生または予想される場合には、その影響を受け変動します。当ファンドが実質的に投資する株式の発行者が経営不安・倒産に陥った場合、またこうした状況に陥ると予想される場合、信用格付けが格下げされた場合等には、株式の価格が下落したり、その価値がなくなることがあり、基準価額が下落する要因となります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

当ファンドへの投資に伴う主な費用は購入時手数料、信託報酬などです。

費用の詳細につきましては、当資料中の「ファンドの費用」および投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

### ◆収益分配金に関する留意事項◆

- 収益分配は、計算期間中に発生した運用収益（経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。））を超えて行われる場合があります。したがって、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 受益者の個別元本の状況によっては、分配金の全額または一部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。個別元本とは、追加型投資信託を保有する受益者毎の取得元本のことで、受益者毎に異なります。
- 分配金は純資産総額から支払われます。このため、分配金支払い後の純資産総額は減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。計算期間中の運用収益以上に分配金の支払いを行う場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することとなります。

### ◆その他の留意点◆

- 当ファンドはファミリーファンド方式で運用を行います。当該方式は、運用の効率化に資するものですが、一方で、当ファンドが主要投資対象とするマザーファンドに対し、他のペーパーファンドにより多額の追加設定・一部解約等がなされた場合には、マザーファンドにおける売買ならびに組入比率の変化等により、当ファンドの基準価額や運用が影響を受ける場合があります。

※当資料は9枚ものです。

※P.7の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご覧ください。



アセットマネジメントOne 株式会社



きらぼし・みらい応援株式ファンド

愛称：きらぼしみらい

お申込みメモ(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

購入単位	販売会社が定める単位(当初元本1口=1円)
購入価額	購入申込受付日の基準価額(基準価額は1万口当たりで表示しています。)
購入代金	販売会社が定める期日までにお支払いください。
換金単位	販売会社が定める単位
換金価額	換金申込受付日の基準価額
換金代金	原則として換金申込受付日から起算して4営業日目からお支払いします。
申込締切時間	原則として営業日の午後3時30分までに販売会社が受けたものを当日分のお申込みとします。なお、販売会社によっては異なる場合がありますので、詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金請求に制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止および取消し	金融商品取引所等における取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止することおよびすでに受けた購入・換金のお申込みの受付を取り消す場合があります。
信託期間	2048年9月3日まで(2018年7月31日設定)
繰上償還	次のいずれかに該当する場合には、受託会社と合意の上、信託契約を解約し、当該信託を終了(繰上償還)することがあります。 ・信託契約を解約することが受益者のために有利であると認める場合 ・受益権口数が10億口を下回るようになった場合 ・やむを得ない事情が発生した場合
決算日	毎年3月および9月の各3日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年2回の毎決算日に、収益分配方針に基づいて収益分配を行います。 ※お申込コースには、「分配金受取コース」と「分配金再投資コース」があります。ただし、販売会社によっては、どちらか一方のみの取扱いとなる場合があります。詳細は販売会社までお問い合わせください。
課税関係	課税上は株式投資信託として取り扱われます。 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に少額投資非課税制度(NISA)の適用対象となります。 当ファンドは、NISAの「成長投資枠(特定非課税管理勘定)」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ※原則、収益分配金の普通分配金ならびに換金時の値上がり益および償還時の償還差益に対して課税されます。 ※税法が改正された場合等には、上記内容が変更となる場合があります。

ファンドの費用(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

下記の手数料等の合計額、その上限額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することができません。  
※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となる場合があります。

●投資者が直接的に負担する費用	
購入時手数料	購入価額に、 <b>3.3%(税抜3.0%)</b> を上限として、販売会社が別に定める手数料率を乗じて得た額となります。
信託財産留保額	ありません。
●投資者が信託財産で間接的に負担する費用	
運用管理費用(信託報酬)	ファンドの日々の純資産総額に対して <b>年率1.705%(税抜1.55%)</b> ※運用管理費用(信託報酬)は、毎日計上(ファンドの基準価額に反映)され、毎計算期末または信託終了のときファンドから支払われます。
その他の費用・手数料	その他の費用・手数料として、お客様の保有期間中、以下の費用等を信託財産からご負担いただきます。 ・組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料 ・信託事務の処理に要する諸費用 ・外国での資産の保管等に要する費用 ・監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用等 監査費用は毎日計上(ファンドの基準価額に反映)され、毎計算期末または信託終了のとき、その他の費用等はその都度ファンドから支払われます。 ※これらの費用等は、定期的に見直されるものや売買条件等により異なるものがあるため、事前に料率・上限額等を示すことができません。

※当資料は9枚ものです。

※P.7の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご覧ください。



アセットマネジメントOne 株式会社



## きらぼし・みらい応援株式ファンド

愛称：きらぼしみらい

### 投資信託ご購入の注意

投資信託は、

- ① 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
- ② 購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。
- ③ 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

### 当資料のお取り扱いについてのご注意

- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成した販売用資料です。
- お申込みに際しては、販売会社からお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は、主に国内外の株式、公社債および不動産投資信託などの値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資をします。市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。
- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

#### ◆ファンドの関係法人 ◆

<委託会社>アセットマネジメントOne株式会社  
[ファンドの運用の指図を行う者]  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第324号  
加入協会:一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会  
<受託会社>みずほ信託銀行株式会社  
[ファンドの財産の保管および管理を行う者]  
<販売会社>販売会社一覧をご覧ください

#### ◆委託会社の照会先 ◆

アセットマネジメントOne株式会社  
コールセンター 0120-104-694  
(受付時間:営業日の午前9時~午後5時)  
ホームページ URL <https://www.am-one.co.jp/>

※当資料は9枚ものです。



きらぼし・みらい応援株式ファンド

愛称：きらぼしみらい

販売会社（お申込み、投資信託説明書（交付目論見書）のご請求は、以下の販売会社へお申し出ください）

○印は協会への加入を意味します。

2025年4月8日現在

商号	登録番号等	日本証券 業協会	一般社団 法人日本 投資顧問 業協会	一般社団 法人金融 先物取引 業協会	一般社団 法人第二 種金融商 品取引業 協会	備考
株式会社きらぼし銀行	登録金融機関 関東財務局長(登金)第53号	○		○		
きらぼしライフデザイン証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第3198号	○				

●その他にもお取扱いを行っている販売会社がある場合があります。

また、上記の販売会社は今後変更となる場合があるため、販売会社または委託会社の照会先までお問い合わせください。

<備考欄について>

- ※1 新規募集の取扱いおよび販売業務を行っておりません。
- ※2 備考欄に記載されている日付からのお取扱いとなりますのでご注意ください。
- ※3 備考欄に記載されている日付からお取扱いを行いませんのでご注意ください。

(原則、金融機関コード順)

※当資料は9枚ものです。

※P.7の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご覧ください。



アセットマネジメントOne 株式会社



きらぼし・みらい応援株式ファンド

愛称：きらぼしみらい

販売会社（お申込み、投資信託説明書（交付目論見書）のご請求は、以下の販売会社へお申し出ください）

以下は取次販売会社または金融商品仲介による販売会社です。  
○印は協会への加入を意味します。

2025年4月8日現在

商号	登録番号等	日本証券 業協会	一般社団 法人日本 投資顧問 業協会	一般社団 法人金融 先物取引 業協会	一般社団 法人第二 種金融商 品取引業 協会	備考
株式会社U銀行（委託金融商品取引業者 きらぼライフデザイン証券株式会社）	登録金融機関 関東財務局長（登金）第673号	○				
株式会社きらぼし銀行（委託金融商品取引業者 きらぼライフデザイン証券株式会社）	登録金融機関 関東財務局長（登金）第53号	○		○		

●その他にもお取扱いを行っている販売会社がある場合があります。

また、上記の販売会社は今後変更となる場合があるため、販売会社または委託会社の照会先までお問い合わせください。

<備考欄について>

- ※1 新規募集の取扱いおよび販売業務を行っておりません。
- ※2 備考欄に記載されている日付からのお取扱いとなりますのでご注意ください。
- ※3 備考欄に記載されている日付からお取扱いを行いませんのでご注意ください。

（原則、金融機関コード順）

※当資料は9枚ものです。

※P.7の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご覧ください。



アセットマネジメントOne 株式会社